関商工会議所　平成29年度経営発達支援計画　外部有識者評価表

平成29年度における当該商工会議所の経営発達支援計画の実施状況については、概ね「計画したことを忠実に実行した」という状況だと思います。

ただし、実績数値のカウントの仕方が会議所内で統一ルールが十分に共有されておらず、個人の感覚に頼っている面が見受けられたため、今後は「何をもって一件とするか」共通ルールを定め、それに則りそれぞれの取り組み事項を推進していただくことを期待します。

また、中小企業庁が年度明け公表した「平成29年度経営発達支援事業実施状況調査　調査票Ａ」に回答すべき事項について、一部昨年度は把握しきれなかった項目があったとのことで、今年度以降はこれを踏まえ、「フォローアップ支援の中で実施すべきこと」として取り組んでいただきたいと思います。

坪内委員から指摘があったように、施策利用状況等（その他取組状況）について、持続化補助金申請件数は高い実績を残したものの、ものづくり補助金や経営力向上計画については会議所内で十分にノウハウが蓄積されておらず、実績ゼロという結果に終わりました。市内事業者には製造業が多数あることから、今年度以降のノウハウ蓄積に期待したいと思います。

全体的な講評として、本事業は実施することが多岐にわたっており事務作業も膨大なものがあることが推測されます。しかし、「計画ありき」で進めていくのみではなく、「管内事業者の持続的発展」に貢献するよう、本事業が実のある取り組みとなるよう期待します。また、特に今年度からは「事業承継」や「人手不足対応」といった新しい課題なども増えておりますので、これら現在求められている課題なども本事業実施を通じて対応・支援していただきたいと思います。

平成30年6月27日

くおん経営　代表　中小企業診断士　遠藤　久志